

【事例紹介】

岐阜県と県内教育機関との連携による 地域の魅力発信を含めた留学フェア

-G I F U留学フェア開催事例-

Study in Japan Fair including the Promotion of Gifu's Regional
Attractiveness in Cooperation with the Gifu Prefectural Government and
Educational Institutions within Gifu:
A Case Example of "Study in Gifu Fair"

岐阜県商工労働部観光国際局海外戦略推進課主任 伊藤 泰啓

ITO Yasuhiro

(International Affairs Division, Gifu Prefectural Government)

キーワード：ベトナム、留学フェア、外国人留学生獲得戦略

1. はじめに

企業と外国人留学生との交流促進

岐阜県企業の多くが、海外での工場建設や海外との取引等、海外展開を実施している。また、国内市場が収縮する中、アジアをはじめとした海外の中間層・富裕層が増加しており、企業にとって、海外市場獲得が重要であることから、海外展開を行う岐阜県企業はさらに増加することが見込まれる。

しかしながら、岐阜県企業からは、海外展開に際し、海外市場のニーズの把握や海外販路開拓のきっかけづくり、海外パートナーの確保、現地の法制度や商習慣の違いなど、数多くの課題に直面しているとの声が聞かれる。

そのような中、海外への投資（追加投資含む）や取引拡大を目指す岐阜県企業においても、現地の言語・商習慣を理解し、投資優遇策や海外パートナー等の情報収集を担うグローバル人材としての外国人留学生生活用への関心が高まっている。

2016年版中小企業白書によれば、「高収益企業は、マーケティングや計画策定を進め、外国人も含めた人材の確保・育成を行いつつ、モニタリングを通じてリスクにも備えながら、海外展開をすることにより、売上拡大等を達成している」との統計結果も出ており、海外展開のプロセスにおいて、外

国人材の活用を検討する必要がある。

一方、外国人留学生に目を向けると、「内なる国際化研究会」報告書（経済産業省：H28.3）によれば、日本での就職意欲のある外国人留学生は約60～70%おり、岐阜県内の大学等と意見交換したところ、大多数の外国人留学生が日本企業への就職を望んでいるとのことであった。

そこで、岐阜県企業の海外での事業展開や、国内での人手不足の深刻化等により、外国人留学生の採用の機運が高まっている中、将来的な県内企業による外国人留学生の採用拡大に向け、岐阜県では、2016年から岐阜県企業と外国人留学生との交流促進に向けた取組みを開始した。

具体的には、外国人留学生と岐阜県企業との交流促進を目指して、外国人留学生向けインターンシップや、岐阜県内では中国人に次いで人数の多いベトナム人留学生との交流の基盤となる「ベトナム岐阜留学生ネットワーク」の立ち上げなど様々な取組みを実施している。県内では、大学や金融機関等も、外国人留学生向け就職支援講座や企業訪問ツアーを実施するなど、関係機関と連携しながら、外国人留学生と岐阜県企業との交流を進めている。

<参考>

① 留学生インターンシップ in GIFU（外国人留学生向けインターンシップ）

企業に対する外国人留学生の雇用体験、外国人留学生に対する日本企業での就業体験という機会を創出することで、将来の県内企業での外国人留学生雇用の拡大に向け、企業と外国人留学生との相互理解・相互交流の促進を目指すため実施。

② ベトナム岐阜留学生ネットワーク

岐阜県内の大学、専修学校、高等専門学校、日本語学校等の教育機関に通うベトナム人留学生及びその卒業生が登録している。岐阜県とベトナムとの友好交流を進めるため、岐阜県企業との交流会の開催時などに交流の基盤として活用。

2. 留学フェア開催の背景

外国人留学生と岐阜県企業との交流を引き続き促進していくためには、継続的に外国人留学生を獲得することが必要である。そこで、外国人留学生を呼び込むため、海外での留学フェアの開催に向け、検討を開始した。

まず、外国人留学生獲得方法について、県内大学等と意見交換を実施したところ、大学等では、留学希望者への学校PRのため、これまで実績のある留学フェアへの参加や、外国人留学生向け専用HPの開設、Twitter・Facebook等のSNSを活用した募集活動、また現地機関等を活用した外国人留学生募集活動の実施など、様々な取組みをしているとのことであった。

実績のある留学フェアへの大学等の参加に関しては、多様な参加校があり、多くの来場者が見込まれることや、これまでの実績によって、多くの来場者にPRすることができるなどのメリットを感じ

ているとのことであつた。しかしながら、岐阜県の大学等が単独で参加した場合、東京・大阪などの都市部の学校や、有名大学と競合しての参加となり、留学フェア来場者に対して、岐阜県の大学等に関心をもってもらふことが難しいなどの課題があるとのことであつた。

次に、外国人留学生在が留学先を決める要因について、外国人留学生から声を集めたところ、留学先の学習内容や、生活環境、同じ出身国の留學生割合、知名度など、様々な理由があるようであつた。さらに、掘り下げて聞き取りを実施していくと、外国人留學生の保護者の影響力が大きいことがわかつてきた。日本への留学へ送り出す保護者としては、留学先の学校の魅力や学習内容はもちろんであるが、留学先の環境、特に安心して送りだせる環境であるのかが重要であることがわかつた。

これらのことから、岐阜県の大学等が留学フェアの中で魅力をアピールできないという課題に対応しつつ、外国人留學生の保護者へのPRも意識した留学フェアを開催することとした。具体的には、岐阜県の大学等が複数校揃って留学フェアに参加することで、スケールメリットを出す。さらには、大学等教育機関と岐阜県が一体となって、学習内容だけではなく、岐阜県全般の生活環境や観光・産業等をPRすることで、他校や他地域と差別化を図り、留学希望者を惹きつけることを目指す「G I F U留学フェア」である。

岐阜県内の大学等5校とともに、岐阜PRブースを設置し、留学する地域（岐阜県）の情報をPRすることで、留学した後の生活や環境をイメージすることができるよう、また卒業後の就職も留学先を決めるポイントとなるため、岐阜県内の産業・観光なども含めた岐阜県の魅力を伝えることで、参加校への関心をさらに高めるような試みとして、「G I F U留学フェア」を初めて開催することとした。

次に、留学フェアの開催地については、以下の3点から、ベトナムで開催することとした。

1点目としては、日本学生支援機構によれば、2015年、日本におけるベトナム人留學生は、約3万8千人であり、前年から約47%と急激に増加しており、岐阜県においても、約500名のベトナム人留學生が在籍するなどベトナム側の日本への関心が高いこと。

2点目としては、本県では、2015年7月のベトナムでのトップセールスを機に、2015年11月には、同国中央政府や地方政府高官、金融機関、民間事業経営者など約80名が来県し、交流機運が高まった。先方からは貿易・投資、観光の促進に加え、「人材教育」も強く期待されており、本県とベトナムとの交流が加速化していくタイミングであつたこと。

そして3点目としては、岐阜県企業の海外展開先の関心地域をヒアリングしたところ、東南アジアに位置し、経済成長が著しいベトナムへの進出が注目されていること。また、岐阜県内の大学等も留學生の受入れ拡大を図っているところであり、とりわけベトナム人留學生への関心が高まっていること。

こういったことから、開催地をベトナムとし、中心都市であるハノイ及びホーチミンで開催するこ

ととした。

3. 「G I F U留学フェア」の開催結果

今回のG I F U留学フェアは、岐阜県内の大学を中心とした教育機関5校とともに開催した。開催方法としては、(1) ホーチミンでは、民間団体が主催する留学フェアに岐阜グループとしての参加、(2) ハノイでは、岐阜県単独での開催、という異なった形式で実施した。開催概要は、以下のとおりである。

(1-1) G I F U留学フェア in ホーチミン①

開催日時	2016年11月18日(金) 午前9時00分～午前11時45分
会場名	GEM センター 5F 「CASTOR 2」 (8 Nguyen Binh Khiem, District1, HCMC) 特徴：洋風の高級ホテルのような佇まいのベトナム最大級のコンベンションセンター。ビジネス地区にあるアクセスのよい会場。
参加校	日本側参加者：岐阜県側5校を含む11校 ベトナム側参加校：16校
開催方法	「2016 Japan Vietnam Festival in Ho Chi Minh」連携イベント「日越教育プログラム2016年ベトナム ホーチミン 留学フェア」への参加 ※2016 Japan Vietnam Festival in Ho Chi Minh : Japan Vietnam Festival 実行委員会が主催する、日本の「食」「モノづくり」を通じ、日本の「文化」「伝統」「技術」「製品」「サービス」のあらゆる魅力を一度に体験できるベトナム最大の日越交流イベント。 ※日越教育プログラム2016年ベトナム ホーチミン : (株)毎日新聞社及び近畿日本ツーリスト(株)が主催する、日本の大学・学校側と①ベトナム側大学、日本語学校等の学校同士によるマッチング、②日本への留学希望生へのPRの場を提供。ベトナムでのネットワーク構築、現地学生の生の声を収集でき、日越教育関係者同士や、ベトナム人の留学希望者との「出会いの場」創りを行うイベント。

<当日の様子>



面談の様子



面談の様子

日本への留学希望者を有するベトナム側大学や日本語学校16校が参加し、ベトナム側学校関係者とのコネクション醸成を目的とした面談を実施した。実施方法としては、日本側、ベトナム側学校の概要情報を事前提供し、面談希望校を聴取し、マッチングした上で面談を実施した。当日は、学校間交流に関する熱心な意見交換が実施された。

(1-2) GIFU留学フェア in ホーチミン②

開催日時	2016年11月19日(土) 午後1時00分 ~ 午後5時00分
開催場所	GEMセンター 5F 「CASTOR 2」 (8 Nguyen Binh Khiem, District1, HCMC) 特徴：洋風の高級ホテルのような佇まいのベトナム最大級のコンベンションセンター。ビジネス地区にあるアクセスのよい会場。
参加校	日本側参加者：岐阜県側5校を含む11校
開催方法	「2016 Japan Vietnam Festival in Ho Chi Minh」連携イベント「日越教育プログラム2016年ベトナム ホーチミン 留学フェア」への参加

<当日の様子>



GEMセンター(会場)



留学フェア会場受付



会場内GIFU留学フェアブース



留学希望者順番待ちの様子



岐阜の参加大学の様子



岐阜県PRブース

日本への留学を希望する学生やその保護者を対象とした留学フェアを開催した。同じ地域(岐阜県)から出展していることをPRするため、各学校のブースには、岐阜県観光ポスターを学校ポスターに加えて掲示することで、一体感を演出した。そういったことで、入場口から、来場者の目を引くことができ、集客効果も得られた。また、岐阜県PRブースを設置したことで、留学地域(岐阜県)のより詳細な情報提供をすることができ、大学等の魅力に加え、岐阜県の観光・食・産業等の魅力を伝えることができた。来場者は、日本への関心が高いため、岐阜PRブースには、常時、来場者の立ち寄りがあった。

「GIFU留学フェア in ホーチミン」では、「2016 Japan Vietnam Festival in Ho Chi Minh」連携イベント「日越教育プログラム2016年ベトナム ホーチミン 留学フェア」に、岐阜グループとして参加し、県と教育機関とが一体となってPRすることができたと考えられる。また、過去に開催実績のある留学フェアに参加したことで、多くの留学希望者にPRすることができた。

(2) GIFU留学フェア in ハノイ

開催日時	2016年11月20日(日)午後1時00分～午後5時00分
開催場所	日航ハノイホテル 2階 FUJI A & B (84 Tran Nhan Tong Street Hanoi Vietnam) 特徴: ハノイの目抜き通り“Le Duan”通りに面し、ハノイ駅まで徒歩10分と抜群の立地を誇る。ベトナム文化と日本のホスピタリティが融合した会場
参加校	岐阜県側5校のみ
開催方法	ホテルを利用し、岐阜県単独で留学フェアを開催

<当日の様子>



留学フェア会場入口



留学フェア受付



会場レイアウト



会場内様子



岐阜PRブース



参加者へ説明の様子

「G I F U留学フェア in ハノイ」は、岐阜県単独で開催した。会場内全体に、岐阜県観光ポスターを掲示し、会場内を岐阜の風景で飾った。また、待合テーブルには、日本文化の体験として、折り紙体験コーナーも設置した。

集客に関しては、G I F U留学フェア開催に向け、ハノイにある日本語学校や日本語コースを有する大学などへ広報活動を実施した。岐阜県の認知度の低さや、G I F U留学フェアの規模（参加校が5校であること）、また、限られた予算内での告知活動により、ベトナム側学校及び学生の関心を引くことができず、集客について課題を残すこととなった。しかしながら、日本への留学に強い希望を持つ来場者のみの参加となったことで、長時間にわたり活発な質疑応答などができたため、来場者及び参加学校側の双方にとって、満足度の高いものとなったとの意見を得ており、「G I F U留学フェア in ホーチミン」とは違ったプラス面を見出すこともできた。

4. おわりに

アンケート集計結果より

G I F U留学フェアで実施したアンケート集計結果からは、留学先を決める決め手になることは、「技能・知識を身につける」、「学びたいことが学べる」であり、「有名な大学」、「都市部」という回答が少ないという結果が出た。こうしたことから、外国人留学生を獲得するには、各学校の特色や卒業後身に付けられる技能・知識などを、外国人留学生に対する確にPRすることが必要であることがみえてくる。

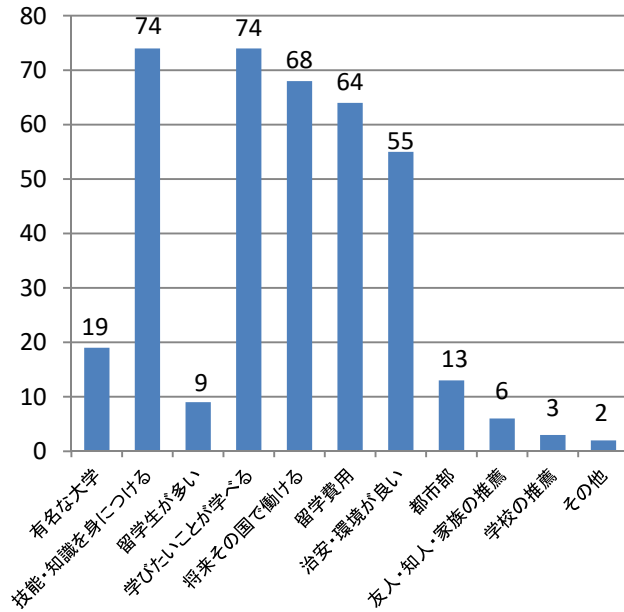
また、「将来その国で働ける」との回答も多かったことから、留学希望者は、留学（卒業）後の進路として、日本での就職に関心が高いことも読み取れる。そのため、卒業後の就職先などの将来ビジョンを示すようなPRも必要となってくると思われ、入口（入学、在学中）から出口（卒業後）までを丁寧に説明していくことで、地方への留学が選択肢の一つとされる可能性がさらに高まるであろう。

さらには、「治安・環境が良い」ところへ留学したいとの回答が圧倒的に多く、こういったことから外国人留学生獲得にあたって、地域環境面のPRも併せて実施することが重要であると考えられる。

最後に、岐阜県の認知度はまだまだ低いが、アンケート回答者の約半数から、留学フェアに来場したことで、岐阜県へ留学したいとの回答を得ており、大学等教育機関と連携し、岐阜県PRブースを設置したことは、生活地域としての岐阜県の魅力発信に一定の効果があったのではないかと考える。

岐阜県としては、引き続き、教育機関と連携して、生活地域としての岐阜の魅力伝えることで、優秀な外国人留学生の獲得を支援するとともに、外国人留学生と岐阜県企業との交流を促進していくことで、出口部分の充実、つまり、岐阜県企業への就職につなげる取組も進めていきたい。

留学先を決める決め手になることは何ですか？
(複数回答可)



留学したい理由

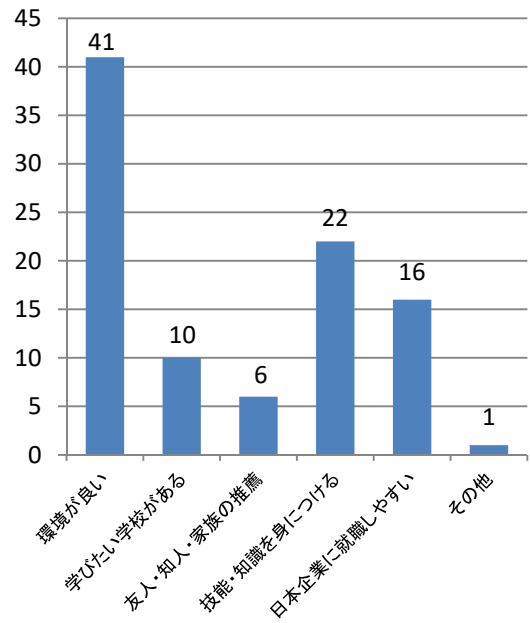


表 「G I F U留学フェア」アンケート集計結果より